

ヨコハマ市民まち普請事業 令和3年度整備施設 戸塚区小雀町で、誰でも集える多目的交流スペースが完成！



戸塚区小雀町で、「障害のある人もない人も誰でもそこで憩い、交わり楽しむことができるようなスペースを」という思いから、「ぐるーぷ・ちえのわ」は、ヨコハマ市民まち普請事業を利用し「車椅子でもOK!誰でも集える多目的交流スペース」を整備しました。このたび、開所イベントを開催します。



新施設の名前は開所イベントで発表します！



新たにカフェ事業も始めます。



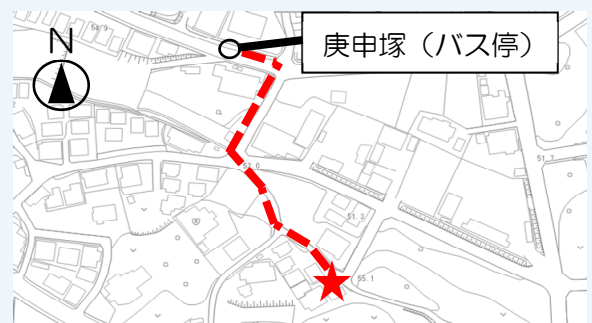
車椅子でもOK！

<開所イベントについて>

- 日時
令和3年12月12日（日）
13時から15時まで（予定）
- 内容
新施設の名称発表、活動紹介、バザー等
- 会場
右記の<施設の所在地>を参照
*駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- その他
入場無料、事前申し込み不要
どなたでも参加いただけますが、入場希望者数の状況により、新型コロナウイルス感染症対策として入場を制限する可能性があります。

<施設の所在地>

戸塚区小雀町1115-1
庚申塚（バス停）より徒歩5分
（大船駅西口より乗車）



ぐるーぷ・ちえのわフェイスブック



活動の様子を更新しています。
*HPは4月に開設予定です。

取材をご希望の方は、12月10日(金)12時までに裏面のお問合せ先へご連絡ください。取材時の人数や方法を調整させていただきます。

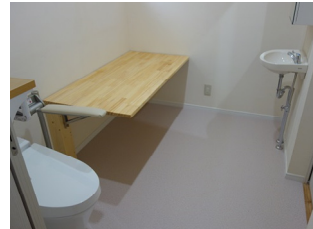
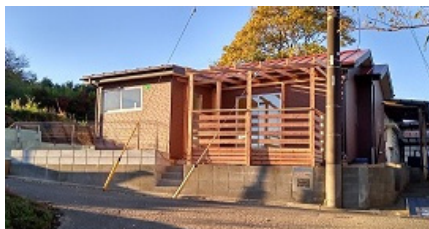
裏面あり

整備の背景

任意団体「ぐるーぷ・ちえのわ」は、これまで地域の方たちと30年以上にわたって、障がいのある子どもや青年たち等に対し、余暇活動支援や学習支援等を行ってきました。活動を行ってきた施設は、入口には急なスロープ、車椅子用のトイレがない等、利用に際し不自由な思いをされている方が多いという課題がありました。

新たに空き家を借りて、誰でも利用しやすくするスロープやトイレの整備、また、新しくカフェ事業を行う施設を整備しました。これまでの活動をより広げ、継続的に行うためNPO法人化も予定しています。(令和4年4月予定)

「インクルーシブ(多様性と包摂性をもった)な地域の広場」を目指し、改めて活動が始まります。



空き家となり利用されていなかった民家を借りて、誰でも利用しやすい施設に整備しました。

ぐるーぷ・ちえのわの活動

余暇活動支援や学習支援等の他、新たに始めるカフェ事業の準備も着々と進めています。



ちえのわサロンの様子
(余暇活動の支援)



寺子屋の様子
(様々な子どもたちの学習支援)



美味しいコーヒーの淹れ方
を特訓中です。

地域の方たちが整備に参加しました！(しっくい塗り、ウッドデッキづくり)



プロの方に教えてもらいながら、地域の方たちみなさんと一緒に造りあげました。

(参考) ヨコハマ市民まち普請事業のご案内

ヨコハマ市民まち普請事業では、地域交流や高齢者の見守り、子育て支援、自然環境の保全、歴史資源の活用、防災・防犯など、市民の皆さまが主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設の整備提案を募集しています。

二段階の公開コンテストにより選考された提案に、50万~500万円までの整備助成金を交付します。

【ヨコハマ市民まち普請事業HP】



まち普請

検索

お問い合わせ先

都市整備局地域まちづくり課 担当課長 萩原 慶一

Tel 045-671-2665